

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	急性期脳卒中疑い患者に対する CT 血管造影を体幹部まで拡張することの有用性
研究責任者	神経内科 石井辰仁
研究実施体制	当院のみで実施される研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2025 年 11 月 30 日
対象者	【対象患者】2020 年 4 月 1 日から 2023 年 8 月 31 日までに聖隷浜松病院科に入院した脳卒中疑い患者さん 【選択基準】頭頸部造影 CT を施行した患者さん 【除外基準】放射線科へ読影依頼をしなかった患者さん
研究の意義・目的	急性期脳卒中が疑われる患者について、CT 血管造影による脳血管評価が一般的に行われています。当院では、来院時 CT 血管造影の撮影範囲を頭頸部から体幹部まで拡げ、脳血管造影検査や脳血管内治療におけるアクセスルート評価を行っています。悪性腫瘍などの体幹部異常所見を見落とす危険性があり、CT 血管造影をオーダーする際に放射線診断医による読影を依頼することができます。急性期脳卒中が疑われた患者さんにおいて、体幹部を含めた CT 血管造影により見つかった異常所見を検討します。
研究の方法	2020 年 4 月 1 日から 2023 年 8 月 31 日までの期間で、急性期脳卒中を疑われて当院へ救急搬送され、頭頸部に加えて体幹部まで CT 血管造影を施行した連続例を後ろ向きに抽出します。このうち主に救急外来で依頼があり、放射線診断医による読影が為された症例を対象とします。対象のうち、異常所見の内容と頻度を評価します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 脳卒中科 石井辰仁 TEL:053-474-2222(代表) 神経内科外来 9:00~17:00 平日